

公益財団法人

日本教育公務員弘済会

# 福井支部のしおり



小浜市立小浜美郷小学校



福井県立武生東高等学校



越前市武生第六中学校



小浜市立口名田小学校

## Contents

年頭にあたり

令和3年度 福井支部事業報告

教育文化活動助成活動報告

令和4年度 支部事業計画

損害保険のご案内

共済事業のご案内

令和4年度 貸与奨学生募集のご案内

2022.1発行  
vol  
**31**

# 年頭にあたり

公益財団法人  
日本教育公務員弘済会福井支部  
支部長 竹原昭一



新年明けましておめでとうございます。

県内教育関係者および教弘会員の皆さまには、日ごろより日教弘福井支部の各種事業の推進に当たり、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

一昨年より、新型コロナウイルスによる感染症の拡大により、世界規模で緊急事態が発生し生活様式が一変してしまいました。昨今は、感染者数も減少し規制も緩和され少しずつ元の生活に戻りつつあります。教育に携わる皆さまには、これまでに、子どもたちおよび教職員の皆さんの安全で安心した生活を守るために日々努力されましたことに敬意と感謝を申し上げますとともに、このまま感染拡大が収束に至ることを願う限りです。

さて、日教弘福井支部では、教育に携わる仲間たちの助け合いの輪を広げるという創立の理念を大切にしつつ、厳しい教育環境下で日々奮闘し頑張っていただいている教職員の皆さんの志と合わせ、福井県の教育の振興および貢献する事業の普及・拡大を進めています。

当支部では、教育振興事業として奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業を行っています。奨学事業では、有為の学生・生徒に対する奨学資金の貸与および給付を行っています。教育研究助成事業では、教職員、学校および教育研究団体等が行う教育に関する特に有益な研究(活動)を助成いたします。教育文化事業では、青少年を育成する教職員、学校、教育研究団体等が行う地域の教育文化を創造する研究・活動に対して助成・支援を行っています。このように、日教弘の教育振興事業は、学校に活力を子どもたちに笑顔を与えています。今年度も事業推進にあたり多くの学校を訪問させていただきました。事業の目玉としている図書贈呈では、各小学校の校長先生をはじめ教職員の皆さまのご理解をいただき、職員会議や終礼の冒頭にお時間をいただきお渡しすることができました。また、各種助成金につきましては、直接校長先生にお渡しすることができ、それぞれの教育活動に役立てていただきました。

また、教弘保険に加入いただいている会員様への福祉事業では、暮らしに豊かさをプラスする取組みを行っています。結婚・出産・入学などの祝い金等の給付事業や宿泊・人間ドック・映画鑑賞といった補助事業ではたくさんの会員の方々にご利用いただいているところです。なお、福祉事業は年度内随時ご利用いただけますので、支部の事業案内をご確認いただき申請漏れがないようしてください。

今後も、公益財団法人としての使命を果たすべく教育振興事業の一層の拡充を図り、広く教育界に寄与・貢献するとともに、「最終受益者は子どもたち」であることを前提に福井県の教育の振興・発展に尽力いたします。

## 令和3年度 福井支部事業報告

### 教育振興事業

#### ★奨学事業

- ・貸与奨学金 6名 5,250,000円
- ・給付奨学金 37名 3,700,000円

#### ★研究助成事業

- ・教育研究大会助成 15大会 1,660,000円
- ・教育研究団体助成 14団体 1,800,000円
- ・教育研修助成 68校 2,720,000円
- ・特別支援学校教育支援 6校 300,000円

### ★教育文化事業

- |                  |      |            |
|------------------|------|------------|
| ・教育図書贈呈 小学校      | 186校 | 5,102,045円 |
| ・教育文化活動助成        | 60校  | 4,800,000円 |
| ・へき地複式学校支援       | 19校  | 950,000円   |
| ・教育文化・芸術・スポーツの振興 | 4大会  | 340,000円   |

★福祉事業・福祉関連事業に関しましては、次回号にてご報告いたします。

(令和3年11月30日現在)



公益財団法人日本教育公務員弘済会(略称:(公財)日教弘)の教育振興事業(奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業)及び福祉事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

# 教育文化活動助成 活動報告

県下の伝統文化の保護・技能の継承、科学技術の発展、自然環境の保全、国際交流等の発展・向上を目的とし、特色ある創造的な教育文化活動に対して、今年度は、以下の60校に助成をさせていただきました。

#### 自分の考えを豊かに表現するためのICT機器(iPad)の効果的な活用

福井市春山小学校



9月6日、3年生の総合的な学習の時間(テーマ「地域の宝」)に、体育館で1・2組合同で発表会を行いました。「春山のいいところをしようかいします」を学習問題として、校区内にある田原公園や洋服店の紹介などをiPadを使ってわかりやすく発表し、自分の考え方や思いを上手に伝えることができました。

#### 地域のゲストティーチャーと共に学ぶクラブ活動

福井市宝永小学校



宝永小学校では、4・5・6年生のクラブ活動の時間に、文化・スポーツの分野で優れた技能を持っている地域の方々をゲストティーチャーに招き、児童に指導していただいている。令和3年度は、生け花、茶道、アート、ピース、自然宇宙、囲碁、バトミントン、卓球、バスケットボールの9つのクラブを開設し、月1回年間10回の活動を計画している。どのクラブでも、地域の方々の熱心な指導により、児童の意欲や技能が向上している。

#### 旭小学校区の魅力を発見しよう!

福井市旭小学校



旭小学校区の歴史・文化・伝統についての学びを推進するために、体験活動等の充実を目指した取組を進めてきました。そうした活動に効果的に取り組むために、「旭小学校全図」を作成しました。今までになかった、学校区の住宅地図を活用した校区地図を作成したこと、各施設などの具体的な配置をしっかりと確認することにつながりました。自分たちが、どこでどのような活動に取り組むのか、具体的なイメージをもさせて活動することにつなげた。

#### 地域と関わる教育課程の実践を通して、心豊かな和田っ子を育む

福井市和田小学校

本校では、地域との交流により「ふるさとの愛着と誇り」を育んできました。2年生では9月に「和田地区まちたんけん」を実施した。2年生保護者から小グループを引率補助してもらう「ボランティア先生」を募ったところ、20名の方が集まつた。当日は2年生とボランティア先生で地区内の店舗や施設を小グループごとに巡り、初めて知つたこと、人に支えられていることなど、多くのことを地域から学ぶことができた。

#### 地域で学ぶ・地域で育てる円山っ子

福井市円山小学校



円山小学校では、3~6年生が総合や社会科の時間などをを利用して、地域の方たちの協力を得ながら郷土や福井県について学びを進めている。特に4年生では、社会科と結びつけて県内の伝統的な産業や古くから残る丸岡城などについて見学やインターネットなどで調べ活動を進めている。また、5年生は地域の町興しグループや公民館の方たちの協力を得ながら、円山地区で進めているリゾット糸を利用した活動に参加している。

#### 「ふるさとを知り ふるさとを好きになる」 ふるさと学習

福井市社北小学校



低学年から高学年まで全学年で、自校区から、福井県全体へと範囲を広げたり、身近な人から、地域の施設で働く人々、現在だけでなく、過去の偉人・人々へと対象を広げたりして取り組んでいる。さらに、今年度は、全クラスが県内で色々な仕事をしている人から、オンラインで話を聞く「生きるということ」出前授業を行い、各分野で活躍する人がいるふるさとの良さを感じたり、自分の好きを見つけたりする取組をしている。

**大空にまう うずらの宝の コウノトリ**

鶴地区では、地区をあげてコウノトリに関する活動が活発に行われている。本校では総合的な学習「ふるさとのよさを発見しよう！」において、3年生が中心となつて「コウノトリプロジェクト」を開催している。3年生は、地元の方を講師に招いた学習会での学びや自分で調べたことを2年生に発信した。2年生は、その学びを次年度につなぐ。また、1年生はコウノトリキャラクターフィギュアに取り組み、地区活動推進の一役を担つた。



福井市鶴小学校

**知りたい『森田の宝』  
～町の優しさを見つけよう～**

4年生は、「福祉」に関して学びを進めている。今夏に開催されたバラリントップ東京大会で、日本人選手の活躍をテレビ等で観戦し、自分たちもボッチャ競技を体験したいという思いをもつた。児童はルールをすぐに理解し、競技を楽しんでいた。また、体験をする中で、障がい者も健常者も一緒に楽しめることがボッチャ競技のよさについて感じることができた。他のことでも、一緒にできることは多いと考えるきっかけともなった。



福井市森田小学校

**地域社会や地域住民との関わりを通して、  
ふるさとを愛する心を育む**

本校は、自然豊かな環境の中にあり、「地域清水北に根ざした学校」を掲げ教育活動を行っています。その活動の中心が、学校裏の里山を「北っ子の森」と呼び、清水北地区里山の会と連携を取りながら、遊び場としてだけではなく環境保全や環境整備、自然観察など学び場として活動しています。特に、トングリプロジェクトとして、4年生は拾ってきたトングリを苗木に育て、6年時に植樹する活動を継続的に行ってています。



福井市清水北小学校

**酒生っ子わくわく未来探検(学校田稻刈り)**

本校では、地域の歴史や文化などを学ぶ機会を通じ、地域や学校に愛着と誇りを持つ児童を育成する活動に取り組んでいます。5年生では、地域の方の協力を得てもち米作りを体験しています。5月に木枠を転がして水田に印をつけ、一列に並んで苗を植えました。9月には、鎌で稲を刈りました。11月下旬には、収穫したもち米を使って、餅をつく「収穫祭」を行いました。



福井市酒生小学校

**ふるさと日新地区・福井市の魅力を  
発信しよう～タブレットを活用して～**

福井市日新小学校

**互いにつながり合い、  
主体的に学ぶ子の育成**

福井市本郷小学校

**タブレットを効果的に活用するために**

福井市羽生小学校



児童に一人1台のタブレットが配備されているので、それに合わせて、一人1本ずつタッチペンを購入した。そのタッチペンを使用して、自分の考えをタブレットに書き込み、テレビに拡大して説明をしたり、一つのシートにみんなで同時に書き込み、思いや考えを広げたりしている。また、マークアップ機能を使って、撮影した写真にラインや吹き出しを入れ強調表示するなど、タブレットの特性をこれまで以上に生かせるようになってきた。

一人1台タブレットが導入され、本校では子どもたちが日常的にタブレットを使えるように、各教科や総合的な学習において教員が積極的に授業で活用し、デジタルツールによる子どもたちの学びの幅が広がってきていている。本校では生活科や総合的な学習で地区や市の魅力を探り発信する学習を進めている。タブレットを活用してフィールドワークで調査したり、プレゼンテーションでまとめたりして、協働で身近な地域の魅力を探っている。

**ふるさとの魅力を知り、  
伝統を受け継ぐ南っ子**

永平寺町立志比南小学校



本校では、ふるさとの魅力を知り受け継ぐために、できることを考え実践している。そして11月の「南っ子発表会」で保護者、地域に向けて発信している。今年度のテーマは低学年「学校・町たんけん／ほくらもできるSDGs」・中学年「発見！永平寺地区／ようこそ先輩」・高学年「守れ！生物多様性／南小学校の伝統」。永平寺川の環境保全やサクラマス稚魚放流活動が評価され、今年「環境ふくい推進協議会」から表彰された。

**われら志比北探検隊**

永平寺町立志比北小学校

**上志比っ子の笑顔を広げよう**

永平寺町立上志比小学校

**志津MAPをつくろう**

福井市清水西小学校

**清水南をもっと知り隊!**

福井市清水南小学校



本校では、今年度、総合学習の時間を活用して、清水西地区にある伝えたい魅力発見活動を行っている。  
①五智伽来については、地域の人から話を聞き、仏像の歴史や地域の取り組みを知ったり、タブレットをもってその活動の様子や施設を記録したりしてきた。

②睦月神事については、保存会の方々から話を聞き、睦月神事の歴史を学んだり、実際に踊りを体験したりした。今現在、児童が学んだことを新聞形式でまとめている。

**上志比っ子の笑顔を広げよう**

永平寺町立上志比小学校

上志比っ子の笑顔を広げるためのテーマのもと、仲間づくり活動を行っている。各委員会が中心となって発表する児童集会の開催、縦割り班の絆が深まるようなふれあい活動、ながよしペアでの交流活動等、互いのよさを見つけ合う活動に取り組んでいる。七夕の頃は集会を「七夕ふれあい遊び」に組み替え、縦割り班ごとに飾りをつくり、クイズを楽しんだ。今後もさらにみんなの笑顔が広がるような仲間づくりを推進していきたい。

**主体的・協働的に地域社会に参画しようとする  
態度を育むふるさと学習**

大野市有終南小学校



本校では、「主体的・協働的に地域社会に参画しようとする態度を育む」ために、次のふるさと学習を実践している。  
①「校区のじまんを広げよう」3年生  
②「地域もりあけ隊」4年生  
③「大野の水と食文化」5年生  
④「ともに生きる～未来に向かって～」6年生  
⑤「ふるさと芸術鑑賞」全学年 ふるさと大野の音楽家のバイオリニスト 松谷 由美氏、ヴァイオリン奏者 羽生 尚代氏を招き、全校児童対象に音楽鑑賞を行った。

**リズムに合わせて太鼓を叩いて、太鼓演奏を楽しもう。**

大野市上庄小学校

校区の太鼓工房より講師を招き、和太鼓の練習をしています。1年間を通して演奏を作り上げていく中で、集中力を高め、心身の健康促進を図っています。6年生が出身した大野市連合体育大会の壮行会では、5年生が太鼓を叩いて、選手団にエールを送りました。3年生は1、2年生と保護者に演奏披露をするために練習をしています。太鼓クラブでは、全校児童、こども園の園児、地域住民に発表するために、練習に励んでいます。

**ふるさとを愛し、地域を誇りに思う南っ子**

勝山市立成器南小学校

コロナ禍ではあります、今年もどの学年も積極的に地域に出かけ地域の自然・歴史・産業・福祉などを学びました。今年はまだ学んだだけにとどまらず、持続可能な地域のために私たちにできることを各学年で考えました。5年生は、地域の美しい自然を守るために駆除したセイタカアワタチソウを使って染め物をしました。4年生は、お年寄りが健康で過ごせるような「高齢者体操」を発案し、お年寄りに配るDVDを製作しています。

**磯部ふるさとプロジェクト**

坂井市立磯部小学校

本校では6年生を中心として、磯部まちづくり協議会と連携しながら地元の文化や伝統等について調べ学習を行っている。その一環として地域の方にも親しまれている「いそべ音頭」に着目し、その歌詞の意味や踊り方について地域の方から詳しく学んだ。また、「いそべ音頭」を他の学年にも積極的に広め、学校行事(運動会)の際に地域の方と一緒に踊ることで、地域との結びつきをさらに深めていきたいと考えた。

**福井のお米をPRしよう。**

坂井市立大石小学校

6年生は修学旅行中、棚田見学や福井米に合う福井の食材を味わう探究を行いました。福井には米だけでなく、魚・肉・野菜などたくさんのおいしい食材があることを学びました。5年生は田植え後、米の成長と共に水田の周りの雑草も成長していることに気付き、稲作には水はりや除草など、管理の大切さを知りました。道具や機械を使つた草刈り体験をし、おいしい福井米ができるまでには人々の苦労があることを学びました。

**地域が好きになる『根っこ』を育てる  
～自分たちの手で、自分たちのまちづくりを～**

勝山市立村岡小学校

福井県内では勝山市にしか自生していないミチノクフクジユソウ(環境省絶滅危惧種II種)の保全10年以上にわたり取り組んでいる。毎年の開花調査から始まり、個体数を増やすための自生地の下草刈りを春と秋に行い、盗掘防止の啓発のために立て看板やポスターを制作し設置している。また、地域のNPOや行政機関との行動連携も継続し、ESDやSDGs教育を推進している。

**子どもが主体的に取り組む特別活動**

あわら市金津小学校

金津小学校では、主体的に行動する児童の育成を目指して、児童が主体となって取り組む特別活動に取り組んでいます。おもに委員会活動と縦割り班活動を異学年集団で活動することで、児童の主体性の育成を図っています。特に縦割り班活動では、業間の時間を活用した「スマイルティー」を設け、6年生を中心としたレクレーションを企画運営しています。後期からは、12月に行う「金津つごまつり」に向けて企画、準備を行っています。

**学びを楽しむ力  
～豊かな感性や表現力を育成をめざして～**

あわら市金津東小学校

金津東小学校では、「学びを楽しむ力を育てる」をテーマに、豊かな体験や本物にふれる取組を通して、未来を担う子ども達に豊かな感性や表現力を育む実践を進めています。園工では地元にある金津創作の森美術館と連携し、豊かな自然の中で、専門家の指導をもいたきながら創作活動や鑑賞活動を取り組みました。対話や主体的な活動を重視して進めていくことで、これからも表現力や多様な個性を認め合う力を伸ばしていきます。

**糸生の魅力発信プロジェクト**

越前町立糸生小学校

校歌に「滝の糸生」「蓮の糸生」という歌詞がある。越知山に多くの滝があるが、行きづらい場所にありなかなか見ることができない。今回、地域の方の協力のもと、「かなん滝」を訪れることができた。また、蓮についても探し、蓮池を学校に設置したり、全校で蓮糸とり体験をしたりした。このような活動をとおして糸生の魅力を再発見し、CMや新聞等にまとめ、発信していく。

**工夫し考えながら、主体的に学ぶ  
子供の育成  
～地域との豊かな交流と  
iPadの活用を通して～**

越前市国高等学校

子供たちは、自分が設定した課題(総合的な学習で福祉や職業について、英語の学習で自分の行きたい国とその魅力について等)について、調べてプレゼン資料にまとめたものを、友達と互いに撮影し合うことを通して、プレゼンの練習をしました。音楽では、自分たちの二重奏や合奏を自分で撮影し鑑賞した。自分のプレゼンの様子や合奏を動画で振り返ることで、自分の表現の課題となる点を客観的にとらえ修正することができた。

**地域に根ざし、たくましく生きる  
子どもの育成をめざした体験活動**

越前市南中山小学校

本校では、地域の協力を得ながらいろいろな体験活動を行い、たくましく生きる子どもの育成に取り組んでいる。ふるさと体験活動では赤米奉納の歴史について学習し、田植えから稻刈りまでを行っている。自然体験活動では、栽培活動や宿泊学習でのカヌー体験や野外炊さんなど行っている。交流活動では、児童会主催の「草むしり大会」や「トッジボール大会」など、アイディアいっぱいの企画で全校児童が生き生きと楽しく活動している。

**いつも心にふるさとを**

坂井市立三国西小学校

3年生が、地域の方々の協力のもと、校区の特産であるらっきょうを収穫、処理を行った。また、その収穫したらっきょうを、地域の方の指導の下、らっきょうの味付けを行った。また、らっきょう工場へ見学に行き、地区の特産物についての学びを深めることができた。また、2年生は、自分たちの住んでいる地域へ出かけ、地域の人から地域の歴史や建物などについて説明してもらうなかで、自分たちの地域のことを学ぶことが出来た。

**ふるさとを思い、  
豊かな感性を育てよう**

坂井市立高槻小学校

本校では、豊かな体験や本物にふれる文化芸術活動を実施してきました。ピアニストを招いた演奏会、若手画家によるライブ制作など、子どもたちは目前での演奏や表現に興味津々でした。また、ふるさとの歴史や文化を感じる校外学習にも出かけ、丸岡城や中野重治の文学、一筆啓上など、地域のよさを学ぶ機会となりました。今後は、感じたことを絵や詩歌にして、豊かな表現力を育てる取り組みを続けていきたいと思います。

**ふるさとの思いを受け継ぎ、  
ふるさとの未来について考え方**

敦賀市立中郷小学校

4年生は、伝統野菜「古田村かぶら」の栽培活動に取り組んでいます。その活動を通して、継承に長く携わってこられた人々の思いを受け継ぎ、伝統を受け継ぐ責任や今後の展望について調べ、学びを広げています。また、5年生は、学校近くに建設中の北陸新幹線車両基地を見学し、開通が迫っていることを感じました。新幹線がもたらす物、新幹線の開通によって広めていきたいふるさとの魅力について考えています。

**ふるさと小浜の魅力を発信しよう**

小浜市立小浜小学校

本校では、生活科や総合的な学習の時間に、ふるさとの魅力を発信する活動に取り組んでいる。3年生は「小浜お宝伝え隊」のテーマのもと、地域に古くから伝わる祭りについて、資料館の見学、地域の方へのインタビュー、ゲストティーチャーの招致など、ふるさとの「ひと、こと、もの」と主体的に関わる追究活動を行ってきた。活動を通して、地域の宝を自分たちで大切に守りたいという思いやふるさとを愛する心を育んでいきたい。

**西津を愛するふるさと大好きっ子の育成**

小浜市立西津小学校

ふるさと西津に愛着を持ち地域貢献していく児童を育てるため、ふるさと学習を推進している。5年生は西津の海について調べ、環境問題につなげて発信する活動を行っている。その中で地元特産の「へしこ作り」を取り組んだ。6年生は地場産業である若狭塗り箸の魅力を発信するために、箸工場の方のお話を伺つたり、箸研ぎ体験を行つた。2月に学習発表会を行い、学習の成果を保護者や地域に発信する予定である。

**ふるさとで学び ふるさとつながり ふるさとをつくる**

小浜市立小浜美郷小学校



校内には、お水送り、コウノトリ、大規模ひまわり畑、明通寺、紅葉百選萬徳寺など、伝統・文化、産業、環境に関わる魅力的な教材が数多く存在しています。本校では、その教材群を活用したふるさと学習を通して、課題発見力、情報収集力、ふるさとへの愛着心などを育成しています。助成金を活用してチャーターしたバスに乗り、子供たちは西へ東へと足を運びながら、地域の方と一緒にになってふるさとについての学びを深めています。

**ふるさとを愛し、誇りに思い、  
ふるさとに役立ちたいという  
思いを持つ子どもの育成**

小浜市立今富小学校

**ふるさと「小浜・口名田の魅力」を  
発信しよう**

小浜市立口名田小学校



3年生は、小浜市特産の箸について学習を進め、箸会社の石田さんから箸についての話を聞きました。5年生は、調査した小浜市の魅力や素晴らしさを確認するための校外学習を行い、市場や観光客の方にインタビューをしたり、実際の魚の大きさに驚いたり多くの発見がありました。6年生は、サバمانを有名にして、小浜を活性化するためのPR動画を作成しています。タブレットや動画編集ソフトを使い、思いや考えを形にしています。

**加斗から発信! 地域の宝**

小浜市立加斗小学校



生活科や総合的な学習の時間を中心におこなうと、「ふるさと」「加斗」と語られる人、こと、ものを見つけ、実際に話を聞いたり体験したりして理解を深める学習を展開してきました。谷田部ネギの栽培、地域での米作り、南川での川遊びやアコ・モクズガニの実食、小浜の水から見える食の魅力発見などの体験活動を行つた。今後は、「道の駅でのPR」「学習発表会」「福井ふるさと教育フェスタ」等で、小浜・口名田の魅力を発信していくことを予定している。

**地域の環境について学び、環境に対して自分が  
できることを考える**

美浜町立美浜東小学校

4月に6年生児童が学校近くの海岸に漂流するごみや投棄されたごみの調査を行つた。外国から流れ着いたごみや、投棄されたごみの多さに児童たちは驚き、自分たちにできることを考えた。6月には全校児童で地域のバス停や公園、公共施設などの清掃や草取りを行つた。今後、登山を通して地域の自然に触れたり、年譜博物館等の見学を通して環境の変化の歴史を学んだりする予定である。年度末に取り組みの成果をまとめ、発表をする。

**「ふるさと鳥羽」を体験しよう**

若狭町立鳥羽小学校



鳥羽小学校では、生活科および総合的な学習の時間を中心に、「ふるさと鳥羽」を題材にした体験活動を、年間を通して展開している。本校近くの「えがお池」での生き物探しなどを楽しんだり、名産「山内かぶら」に接し、地元の自然や生産者との触れ合いを体験したりしている。高学年では、「にこにこ田んぼ」での「コウノトリ糞」づくりに取り組み、収穫した糞を地域のイベントで販売するなどした。

**熊川の伝統や文化を守るために**

若狭町立熊川小学校

本校は、校区に熊川宿があるという立地条件を生かし、3年前から熊川宿PRプロジェクトに取り組んでいる。今年度は、熊川宿のお店、体験施設、古民家活用事業を展開されている会社等を訪れて取材したことをもとに、3~6年でパンフレットを作成し、修学旅行先(越前おおの荒島の郷)でPR活動を行つた。児童は、ふるさとの良さを再発見するとともに、自分たちの考えをPR企画が実現し、地域貢献できたことに喜びを感じている。

**工夫と努力が実った文化祭**

福井市成和中学校

地域の施設であるフェニックスプラザにおいて文化祭を行つた。1学年の合唱や2、3学年の演劇、文化部、各委員会の発表が行われた。これまで手作りで工夫して準備してきたことを、すばらしい音響や照明のもとで発表を行つた。会場は大変盛り上がり、盛大な拍手がわき起り、発表者と鑑賞者が一体となつた。今年度は、コロナ禍での開催だったが、ステージや観客席での密を避け、保護者の方にも参観していただくことができた。

**地域に愛着をもち、  
地域とつながる灯中生徒  
~地域を発信するPR動画作成~**

福井市灯明寺中学校



コロナウイルス感染症による緊急事態宣言で10月に延期になつた修学旅行。3年生は、約2年ぶりの校外活動でクラスマートに福井県内の観光地や見どころをタブレットを使って記録し、PR動画を作成した。11月の授業参観(12日実施予定)でPR動画を活用しながらプレゼンテーションを行い、生徒・保護者・教員で福井の魅力を再発見することができた。

**森田を配信!  
地域人として今できることにチャレンジ**

福井市森田中学校



生徒自身がiPadなどを活用して作成した理科教材を、県内の学校と共有する研究会を開催しました。森田中のビオトープに棲む水生生物の動画や写真などの学習資料を県中学教育研究会理科教部会作成の教材共有サイトに投稿し、森田の地域人として森田の自然の魅力を発信し、貢献しようと取り組みました。Web会議形式で県内の理科教員と交流したり、県内のプログラマーからホームページの構築方法を学んだりしました。

**地域に根ざす生徒会活動**

福井市社中学校



本校では、生徒会を中心となって、地域の一員として年間15件ほどの地域活動に参加しています。コロナ禍の影響で約半数の行事が中止となつてしましましたが、学校や地域に誇りと愛着をもつ集団の育成を図りながら、生徒が自律し主体的に活動していく学校づくりを目指しています。

また、ICT機器を活用しながら、まちづくりのアイデア等を考えて、地域の方々と様々な活動を通して心のふれあう交流を行つています。

**生活の自立をめざして**

福井市杉坂中学校



総合的な学習の時間に施設内にある畠地で、農地の整備や四季折々の農作物を植え付けし、水やりや草むしりなどの畑の管理や収穫を行っています。収穫した生の野菜を食味したりしました。また理科の時間には成長した作物の観察やスケッチをしたり、家庭科の時間には収穫したものを使ってのレシピを考え、それらを使った調理実習を行いました。今後は収穫祭等のことを考えていきます。

**地域の魅力について、CMをつくって発信しよう!**

大野市尚徳中学校



中部縦貫道の工事が進むにつれて、沿線に位置する校区の様子にも大きな変化が見られてきました。そのような中で、改めて地域の伝統文化や自然環境、特色ある産業等について調査しました。1年生は情報収集、2年生は偉人調査、3年生は集大成のCMづくりを行いました。企画、取材、撮影、編集すべて生徒の手で作られたCMは地域愛に満ちあふれています。文化祭で発表し、地域の素晴らしい文化を改めて共有できました。

**勝山すてき発見プロジェクト**

勝山市立勝山中部中学校

40年以上の伝統を持つ「浄土寺川清掃を核とした全校環境美化活動」を継続すると共に、1年生は校区3小学校が学んだ地域の魅力を、生徒間で共有する活動を進めています。村岡地区が進める「村岡山公園化プロジェクト」や野向地区の「工芸マ特産化事業」への参画にむけ、登山や農業体験を行いました。自作の「つなげよう笑顔の輪」オリジナルのぼり旗を持参し、中学生が持続発展可能なまちづくりに参画する意欲を示しました。

**ふるさと三国の魅力を再確認**

坂井市立三国中学校

1年生は、校外学習に地元三国と大野市に出かけた。現地調査では、地元三国の良さをインタビュー活動を通して感じた。大野市の現地調査では、三国との比較をして、ふるさと三国の良さを再確認した。2年生は、地元での職場体験と、鯖江市、越前市の企業訪問を行った。職場体験では、地元にある企業を知るとともに、働くことに対する心構えを学んだ。鯖江市、越前市の企業訪問では、貴重な話を聞くことができ、ふるさと三国の魅力について考える機会となつた。

**三高地域魅力化プロジェクト**

福井県立三国高等学校

水族館授業の実施  
10月4日(月)7限目  
「水族館における海洋生物の調査保護や繁殖活動」  
講師 越前松島水族館 鈴木隆史館長  
10月14日(木)13:00～  
越前松島水族館見学会  
職員の案内による普段は見られないバックヤードを見学。  
「さんごの海」水槽の濾過装置、飼育管理センターなど。

**世界の高校生がオンラインで Happyをディスカッション!!**  
World Happiness Forum 高校生国際会議開催!!

福井県立武生東高等学校

9月11日(土)12日(日)に、武生東高校をホストとして、World Happiness Forum in Echizenを実施しました。新型コロナウイルスの感染拡大により訪日ができず、全てオンライン上で顔を合わせました。世界10ヶ国から集まつた高校生や大学生が、8分科会に分かれ、全て英語で、自分達の地域課題・解決策、自分の課題研究を発表し、人類のHappyについて話し合いました。

**国境なき医師団に学ぶ**

坂井市立丸岡南中学校

7月2日(金)6限目、国境なき医師団の高多直晴氏をお迎えし、「途上国の医療現場から見えた世界」という題名の講演会を開催した。氏は医師ではなく、アドミニストレーターという立場で医療以外のすべてのことをこなしていた。何枚もの写真を使って現場の様子を興味深く教えていただいた。現地の人々に、日本の中学生に何をしてほしいか聞いた答が、「今何が起きているか知ってほしい」だったことに生徒は感銘を受けていた。

**合唱コンクールに向けた練習において、ミニキーボードを活用**

坂井市立坂井中学校

地域の特性をいかした体験活動をとおして、命を愛し、自然を愛し、ふるさとを愛する心を育てる学校づくり

越前市武生第二中学校

5月12日に地域指導者による田植講習会の後、保護者ボランティアが「田植え杵」を使って杵付け作業をした黒米田に2年生143人が田植えを行つた。8月21日に「福井県緊急事態宣言」の発令中であつたため、地域の指導者に依頼して機械で稲刈りをした。9月18日の学校祭2日目に収穫祭を開催し、生徒や保護者ボランティアに、黒米おにぎり、全保護者に黒米玄米と黒米クッキー(または黒米せんべい)を振る舞つた。

**日本伝統文化の礼儀作法の伝承**

福井県立福井東特別支援学校

年度当初、題名の内容で県内外から講師を招聘し本校高等部生徒を対象に実施する予定であったが、コロナ第5波のために中止となつた。そこで、12月3日(金)に規模を縮小し県内講師による社会的マナー講座を開催予定。また、その他12月14日開催予定の校内スポーツ大会において講師を招聘して開催予定。

**地域に根ざしたSDGsへの取り組み**

福井県立美方高等学校

敦賀合同青果さんで、売れずに残り廃棄されるところの野菜や果物を加工し、校内外の人に食べてもらうことによって、フードロスの削減に貢献しようと活動した。かほちゃんや小松菜、さつまいも、レタス、摘果ミカンなどでクッキーや、パン、ケーキを考案し、購買や地域のイベントで販売を行い、消費してもらうことができた。さらに、生ゴミをたい肥化することで捨てるゴミを減らし、有効活用する取り組みも行つた。

**国際社会探究科生徒対象の研究手法に関する研修会について**

福井県立若狭高等学校

2年国際探究科では4月より、探究について研究を進めてきた。その総仕上げとして、2月に国際社会探究科生徒対象の研究手法に関する研修会を開催する予定である。本研修会では、講師として国立社会保障・人口問題研究所より佐々木司氏、福井大学より北出順子氏、そしてAppreciateから杉浦いちご氏をお迎えする。そこで、今後の研究を進める上で必要となる手法についてご講演、及びご助言をいただく予定である。

**伝統・文化の学びと郷土愛の育成  
(開かれた、信頼される学校づくり)**

越前市武生第六中学校

43年目を迎えた「大菊づくり」を今年度も地域の菊づくり名人の指導のもと実施した。夏期休業中は保護者の協力を得て水やりを行つた。育てた大菊は10/22より校区のこども園や王子保駕、王子保地区公民館などの施設に、10/23より武生菊人形会場展示している。多くの方々に見ていただき喜んでもらいたいという地域貢献や郷土愛の心を育むと共に、伝統ある「大菊づくり」の後継者育成にもつながることを願つている。

**『わくわく』から始める  
『小浜のコミュニティーデザイン』**

小浜市立小浜中学校

「主体性・創造性・協働性」の3つの資質・能力育成を目指し、総合的な学習の時間を中心に「人、もの、こと」との出会いを学習に向かうエネルギーにして生き方を考える学習を行っています。「地域に生きる」方との出会いは、その方々の考え方や思い、魅力的な生き方モデルを目の当たりにすることとなり、生徒たちが設定したテーマに即した「ふるさとデザイン」「働き方デザイン」を「今を生きる」生徒たちなりに探究しています。



## 令和4年度 日教弘福井支部事業計画

事業名	対象	募集・申請期間	給付時期	助成内容	備考	
奨学事業	貸与奨学金 給付奨学金	本年度大学・短大等に入学された生徒 中学3年に在学中で学習意欲があり、来年度高校進学を希望する生徒で、校長が推薦する生徒	4月1日～5月31日 10月上旬～11月末	8月下旬～ 翌年4月上旬	最大100万円 (1学年25万円) 10万円	無利子貸与 返還不要
教育研究助成事業	教育研究論文の推薦 教育研究大会助成 教育研究団体助成 教育研修助成 特別支援学校教育支援	①学校部門 ②個人部門 国・公・私立の幼・小・中・高・特別支援・高専等の各学校及び教育機関等並びにそこに勤務する教育関係者個人及び研究グループ等 県内を会場とした県、東海・北陸、全国の研究大会を開催する教育研究団体 県内の幅広く有益な教育研究を行う団体 ※校長会・教頭会等の団体、小・中・高の教育研究団体 今年度は、鶴丹・南越・二州・若狭地区の小学校※経費・研修会費等の費用を補助 ※教育文化活動助成との併用不可	4月上旬～10月中旬 仮受付：～3月31日 本受付：4/1～5/31	3月下旬	入賞 最高 3万円 最高 50万円	学校・個人の中から3編を本部に推薦※支部奨励あり 申請書、成果報告書、会計報告書が必要 申請書、成果報告書、会計報告書が必要 申請書、成果報告書、会計報告書が必要 申請書、成果報告書、会計報告書が必要
教育文化事業	【教育図書贈呈】 教育文化・芸術・スポーツの振興	今年度は、中学校・高校・特別支援学校・国公立幼稚園・公立認定こども園	5月1日～5月31日	7月～	1～5万円	教育図書選定基本目録から本を選択
	【教育文化・芸術・スポーツの振興】	児童・生徒の教育文化・芸術・スポーツの振興をめざす各種イベント企画・運営等を支援 ※東海・北陸大会以上	仮受付：～3月31日 本受付：4/1～5/31	7月中旬	予算の範囲内	申請書、成果報告書、会計報告書が必要
福祉事業	教育文化活動助成 へき地・複式学校教育支援	創造的で特色ある教育文化活動を行っている、小学校・中学校・高校・特別支援学校50校※へき地・特支教育支援との併用及び2年連続は不可	4月1日～6月30日	7月下旬～	8～10万円	申請書、中間報告書、成果報告書、会計報告書が必要 申請書、成果報告書、会計報告書が必要
	宿泊補助	日教弘の指定宿泊施設を利用する会員とその家族	ご利用の4日前まで	随時	会員 3,000円 家族 2,000円	自分で予約した場合に限る(年間4泊)
	結婚祝金	ご結婚された会員		随時	7,000円 ギフト券	申請はご結婚1年内
	出産祝金	お子様が誕生した会員		随時	7,000円 ギフト券	申請はご出産1年内
	小学校入学祝金	お子様が小学校に入学した会員		随時	7,000円 ギフト券	申請はご入学年度内のみ
	高等学校入学祝金	お子様が高等学校に入学した会員		随時	5,000円 ～7,000円 ギフト券	申請はご入学年度のみ 加入口数・年数によって祝金額が異なる
	銀婚祝金	教弘保険の継続が10年以上で銀婚式を迎えた会員	9月1日～9月30日	11月中旬～	かわぎギフト	加入口数・年数によって祝金額が異なる
	満45歳健康祝金	年度内に満45歳を迎える会員	申請不要	上期：10月 下期：4月	5,000円 かわぎギフト	
	映画鑑賞会	【映画鑑賞会】会員とその同伴者1名	開催時期に合わせ別途案内(年2回)	開催の2週間前	ペアで 250組500名	申込が必要※応募多数の場合は抽選
		【映画鑑賞券】会員	利用可能期間に合わせ別途案内	利用可能期間に合わせ贈呈	2枚1組を 100名	申込が必要※応募多数の場合は抽選
	人間ドック受診補助	人間ドック・脳ドックを受診された51歳以上の会員※定年齢ドック・定期健診・健康診断は除く	受診後2ヶ月以内	申請日から2ヶ月以内	5,000円	申請書・領収書の写しが必要
	国内研修旅行	退職会員	時期：9月頃 行先：(企画中) 助成：2万円			
福祉関連事業	新採用御祝 新規会員加入記念品 校長昇任御祝 教頭昇任御祝 退職記念品	新採用教職員 新会員加入者 校長昇任者 教頭昇任者 教弘保険、又は教弘付属保険に加入の退職予定者	4月～6月 隨時 申請不要 申請不要 申請不要	4月上旬～ 随时 4月～6月 4月～6月 随时	数点の中から選ぶ A4バイinder 高級ボールペン 名刺入れ ホテルバスタオル	ジブラルタ生命保険の学校担当者がご案内 ジブラルタ生命保険の学校担当者が持参 ジブラルタ生命保険の学校担当者が持参
	会員継続記念品	ユース教弘保険満了時に新教弘保険へ移行継続された会員 年度内に満30歳を迎える会員 退職時に教弘保険を継続された会員 新教弘保険A型等の65歳満了時に新教弘保険K型に移行継続された会員	随时	上期：10月 下期：4月	2,000円 内容は検討	ジブラルタ生命保険の学校担当者が持参
	新採2・3年目応援クイズ おたのしみプレゼント	新採用2・3年目の教職員 全教職員(クイズ&アンケート)	4月～6月 6月末締切 11月末締切	4月上旬～ 7月中旬～ 12月中旬～	デジタルタイマー 豪華賞品	ジブラルタ生命保険の学校担当者がご案内 年2回

## 損害保険のご案内

**教職員のみなさま専用の保険  
教弘まなびやスーパーPLAN**

団体割引・損害率による割引あわせて  
**45% 割引**

教職員賠償責任保険 + 団体総合生活保険(まなびや)

□授業中に生徒がケガ、先生個人に損害賠償請求。  
損賄賠償金  
お見舞金

□生徒を注意したら人格権の侵害と訴訟を起こされる。  
争訟費用  
損害賠償金

□部活動指導中にケガをする。  
治療費

□自転車で他人にケガをさせる。  
損害賠償金

このご案内は、「教職員賠償責任保険」「団体総合生活保険(まなびや)」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら、代理店または引受け保険会社 東京海上日動火災保険におたずねください。

2021年3月作成 総集文書番号20-T06139

**教職員・退職者および家族のみなさま向けの保険  
教弘フルガード**

団体割引・損害率による割引あわせて  
**45% 割引**

団体総合生活保険(フルガード)

退職後もご家族もしっかりとお守りします。

傷害事故(国内外補償)  
被保険者(保険の対象となる方)が負かつた突然な外來の事故によりケガをされた場合に、保険金をお支払いします。ただし(傷害もしくは病気またはこれらによる通波)によるケガについても補償します。

\*教弘フルガードでは、通院保険のお支払いは、1事故30日を限度とします。  
\*被保険者については他の生命保険・共済の約款に競合なく、保険金をお支払いします。

このご案内は、「団体総合生活保険(フルガード)」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら、代理店または引受け保険会社 東京海上日動火災保険におたずねください。

2021年3月作成 総集文書番号20-T06144

**教職員のみなさま専用の団体長期障害所得補償  
教職員収入ロングウェイサポート**

団体割引  
**30% 割引**

もし、ケガや病気で働けなくなったら…  
そんなときの収入の減少を最長60歳の誕生日まで補償します。

詳細はこちらから →

精神及び行動の障害  
アルツハイマー病  
精神疾患  
慢性閉塞性肺疾患  
筋肉  
慢性腎臓病  
骨折  
277.1日  
252.1日  
78.2日  
61.5日  
54.1日  
47.9日  
37.2日

このご案内は、「団体総合生活保険」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら、代理店または引受け保険会社 東京海上日動火災保険におたずねください。

2021年3月作成 総集文書番号20-T06143

損害保険のお申し込み・お問い合わせ・資料請求先は下記まで

代理店：株式会社 日教弘  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-6(教弘会館3階)  
TEL:03-3352-3018 FAX:03-3352-3021

提携・引受け会社：東京海上日動火災保険株式会社  
担当課 公務第二部 文教公務室 TEL:03-3515-4133

# 共済事業 (提携保険事業)

54.2万人(2020年度末)の信頼。教弘保険は、教職員のために開発された日教弘会員の教職員だけが加入できる生命保険です。

**22歳加入**



死亡保険金／高度障害給付金：  
**3,000万円**

34歳以下の教職員のための  
**ユース教弘保険**

災害割増特約付集団契約特約付勤労保険  
月払保険料 **5,823円**

保障期間(15年)

加入年齢	保障期間
20歳～24歳	15年
25歳～29歳	10年
30歳～34歳	5年

※上記内容は商品の概要を記載したものです。ご契約にあたっては必ず共済事業(提携保険事業)提携会社ジブラルタ生命の「保険設計書(契約概要)」および「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。  
※上記記載内容は2021年11月1日現在のものです。

**37歳**



死亡保険金／高度障害給付金：  
**3,000万円**

働き盛りの保障に  
**新教弘保険A型**

集団契約特約付勤労保険  
月払保険料 **10,530円**

保障期間(65歳まで)

教弘保険で退職した後まで安心

- 低廉な保険料
- 日教弘の特典付
- 共済制度の特長

集団契約特約を付加することにより、低廉な保険料率が適用されます。  
各種祝金や指定宿泊施設利用補助などがあります。  
年齢性別にかかわらず保険料は同一です(新教弘保険K型は除く)。  
退職後も保障期間満了(65歳)まで、保険料は現職と変わりません。

**65歳**

80歳まで継続できます

**新教弘保険K型**

集団契約特約付勤労保険  
(更新後の保険料は更新日現在の年齢  
および料率によって計算します。)



**70歳**

**75歳**

**80歳**

|| 更新



さらに保障を充実できます

一生涯の保障と介護に備えた

**新教弘介護保障付  
終身保険** (無配当)

介護保障付終身保険(低解約返戻金型)

人生のさまざまなリスクに対応します

**教弘付属保険**

※上記内容は商品の概要を記載したものです。ご契約にあたっては必ず共済事業(提携保険事業)提携会社ジブラルタ生命の「契約概要」および「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。  
※上記記載内容は2021年11月1日現在のものです。

短期の入院にも手厚い保障

**新教弘医療保険α** (無配当)

医療保険(14)(保険料払込中無解約返戻金型)

大切なご家族のために

**ファミリー教弘医療保険α** (無配当)

医療保険(14)(保険料払込中無解約返戻金型)

## 教弘保険のお問い合わせ先

共済事業(提携保険事業)提携会社

ジブラルタ生命保険株式会社福井支社

福井市大手3-14-9 商工中金・ESビル3F  
TEL: 0776-24-2510 FAX: 0776-24-2523 マーケティングディレクター 福山 正元



営業所	TEL	FAX
福井第一	0776-24-2510	0776-24-2523
福井第三	0776-24-2510	0776-24-2523
福井第四	0776-24-2510	0776-24-2523
鯖 江	0778-51-6536	0778-51-6836
越前第一	0778-52-5763	0778-52-5767
越前第二	0778-52-5765	0778-51-0820
敦 賀	0770-24-6011	0770-24-6016

# 令和4年度 貸与奨学生募集

大学・短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程に在籍または入学が決定している  
学生に奨学金を貸与します。



- 募集人数：20名程度
- 貸与金額：修学年度1年につき25万円。最大100万円を無利息で一括貸与
- 募集期間：令和4年4月1日～令和4年5月31日
- 返還方法：卒業した年の12月から5年(100万円の場合は7年以内)で年賦返済
- 申請方法：福井支部までお電話にてお申し込みください。手続きについてご案内いたします。  
※申請時提出書類：奨学生申請書、付属調査票、連帯保証人の収入証明書、在学証明書  
※内定後提出書類：奨学金借用証書、連帯保証人の印鑑登録証明
- 備考：福井支部教育振興事業選考委員会にて選考後、結果を通知いたします。
- 問い合わせ先：公益財団法人日本教育公務員弘済会福井支部 奨学金担当 (TEL : 0776-23-4433)

## 令和4年3月末にご退職予定の皆様へ

日教弘福井支部のホームページに、今年度退職を予定されている方へWEBによる退職予定者説明を配信しております。

1. 配信期間 令和3年12月1日（水）～令和4年3月31日（木）
2. 視聴方法 「日教弘福井支部」のHPにて
3. 内容 退職の手続き等について

ジブラルタ生命の教弘保険等にご加入の皆様方には、学校担当者が直接お伺いし、諸手続き等のご説明を行いますのでよろしくお願ひいたします。

ご退職後も豊かで安定した生活を送るためには、万が一に備えての保険は必要です。  
ご退職後もぜひご継続ください。

また、教弘保険に未加入の方はご加入をご検討されるラストチャンスです。



## 福井支部からのお願い



再三のおしらせではございますが、2018年4月1日よりメール便の運用方法が変更になり、日教弘会員様ならびに教育関係者のみなさまには多大なご不便、ご迷惑をおかけいたしておりますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

- ①福井市内の公立小・中学校へは、当面週1回（毎週、木曜日に教育センター発、金曜日に各学校着）で福井貨物自動車株式会社が業務を継続します。
- ②福井市以外の公立小・中学校への文書等は郵送させていただきます。  
また、県立学校・私立学校への文書等もこれまで通り郵送させていただきます。
- ③日教弘福井支部への返送が必要な場合は、郵送またはFAX(一部可)にてお送りくださいますようお願い申し上げます。

※日教弘福井支部宛の送付物がある際は、教育センター内の団体様宛の封筒（県教組様の青い封筒や学生協様のオレンジの封筒等）のご利用はご遠慮いただきますようお願いいたします。



編集・発行 公益財団法人 日本教育公務員弘済会福井支部  
株式会社 福井教弘

〒910-0005 福井市大手2-22-28 福井県教育センター3F  
TEL:0776-23-4433 FAX:0776-23-1828  
メールアドレス fukui@nikkyoko.or.jp



↓↓ 各種申請書はこちらから ↓↓  
日教弘福井支部 検索